



日付	2018/03/15	天気	晴れ
現地時間	PM11:20	日本時間	PM01:20
本日の活動	2018.3.15 ポストン研修 4 日目	Report No.	8

Events & Photos

本日の午前中の活動は、一昨日からの日程変更を受け、各クラス以下になりました：

<1組>

- ・MITメディアラボの研究者による、特別講義
- ・MIT student center にて昼食
- ・MIT 大学生協にて自由行動

<2組>

- ・ハーバード大学にて英語研修③、④
- ・ハーバードスクエア周辺で班ごとに昼食

<3組>

- ・ハーバード大学生によるハーバードキャンパスツアー
- ・ハーバード大学生協にて自由行動
- ・ハーバードスクエア内のレストランで学生との昼食

本日の記事では、3組の様子をお伝えします。大学に着いてすぐにハーバードの学生と合流しました。キャンパスツアーのガイドをしてくれる学生が4人来てくれたのでクラスを4つに分け、それぞれのガイドの案内のもと、大学構内を散策しました。学内には第一次大戦で戦死した学生を悼む目的で作られたメモリアル教会、学生や事務職員の生活する寮、ワイドナー記念図書館など歴史ある建物を数多く見ることができ、世界最高峰の大学に通う学生がどのように大学生活を送っているのかを肌で感じる事ができたキャンパスツアーでした。

キャンパス内を歩いた後はCOOP（生協）で自由行動です。シャツやグッズなどのお土産を見たり、豊富に取り揃えられている書籍をいくつか手に取って読んでみたりする姿が見られました。その後はハーバードスクエア内のインド料理店でトリップリーダーとの昼食会を開催しました。彼らとの距離もだいぶ縮まり、様々な話題について英語で会話をしながら盛り上がっていました。研修が始まってすぐの時には英語でのやり取りに消極的だった生徒もいましたが、今回の研修を通し、現地の大学生と流暢な英語で積極的に関わろうとする生徒が大変多く見られ、この研修の中で、多くの生徒が明らかに変わってきています。

午後からはハーバード大学で3クラス全員が再集結し、当初より予定されていた行程をこなしました。各クラス2グループに分かれ、トリップリーダーを中心にプレゼンテーションの最終準備をしました。各班自分たちで設定したテーマに関する情報や草稿を持ち寄り、トリップリーダーに原稿の直しや構成のチェック、発表時のタイムマネジメ



▲ハーバード大生によるキャンパスツアー



▲ハーバードCOOP—書籍の数が大変豊富でした



▲昼食—キャンパスツアーのガイドさんたちとインド料理を食べました

ントなどについて助言をもらいながら、班員全員が協力して進めていました。

準備が終わると休憩をはさみ、いよいよ最終発表です。これまでの英語研修で提示された3つのテーマ「コミュニケーション能力の向上」「重要な国際問題」「日本の問題」について各グループで準備した内容を英語で発表しました。これまでの日程の隙間時間を利用したり、夜遅くまで班員同士で話し合いをしたりして準備してきたプレゼンはどれも完成度が高く、聴衆をうならせるものでした。ハーバードの学生も審査員として参加してくださり、称賛やより良いプレゼンをするための改善点のコメントをしてくれました。本校の教育の柱の一つである「北嶺Gプロジェクト」、昨年度、今年度と連続で実施したハーバードキャンプからこのハーバード・MITプログラムの最終プレゼンテーションまでの行程を有終の美で締めくくることができました。この経験は、将来様々な分野で活躍するであろう29期生のさらなる飛躍の糧になってくれることでしょう。

直後にプログラム修了式が行われ、一人一人に修了証が手渡されました。3組の佐野君が、29期を代表してメンターたちに、これまで指導してくれたことに対する感謝の気持ちを英語で伝えてくれました。最後にはこれまでお世話になったメンター達に感謝の意を込めて全員で校歌を斉唱しました。

夜は場所を移し、ボストン市内の中華街でフェアウェルパーティを行いました。ハーバード・MITプログラムの労を互いにねぎらい、またこれまでお世話になったトリップリーダーたちと別れを惜しみました。パーティ途中、たまたま同じ店にいた、日本語を学ぶ現地の小学生たちと交流する機会もあり、今日も最後まで充実した一日を過ごすことができました。

明日はいよいよボストン研修の最終日となります。本日の午前中に予定されていたハーバード自然史博物館、比較動物学博物館、ピーボディ考古学・民族博物館の見学は、明日行われる班別自主研修に組み込めることになりました。メンターたちの厚意と機転により、当初の予定とは日程を大幅に変更しながらも、ほぼすべての行程をこなすことができました。この旅に関わってくださっている方々への感謝の気持ちを今一度かみしめながら、明日の自主研修も有意義なものにしてほしいと思います。

(文責 29期生学年団)



▲プレゼン最終準備—メンターの指導のもと、班員で協力して進めました



▲修了式—研修を頑張りぬいた証です



▲フェアウェルパーティ—現地の小学生たちとの交流